

ISO 9001:2026 国際規格案 (DIS) 規格改訂情報

今春発行見込みのISO 14001:2026に続き、本年9月頃の正式発行予定として、ISO 9001:2026(予定)の改訂作業も進められています。

品質マネジメントシステム規格の改訂内容のポイントの一つとして「リスク及び機会の強化」があげられます。2015年版ではリスク及び機会がセットの概念でしたが、改訂規格では事業環境、利害関係者のニーズや期待の変化が激しい現社会において、品質マネジメントシステムで達成したい運用目的=意図した結果を達成する能力を高めることを目的として「リスクに基づく考え方=Risk-based thinking」と「機会に基づく考え方=Opportunity-based thinking」という品質概念をそれぞれ整理しながらマネジメントシステムを計画することを要求しております。リスクに基づく考え方により、マネジメントシステムの計画から乖離することを引き起こす可能性のある要因を明確にし、適切な対策を決定、実施することにより、製品・サービスの提供計画からの逸脱を引き起こすインシデントが発生した場合でも運用目的を継続的に達成することを確実にすることを目的としております。一方、機会に基づく考え方により、計画された

目標から逸脱する要因に対処し、機会が発生した際にその効果を最大化することにつながります。明確な機会、ニーズと目標、そして機会自体に関連するリスクを特定し、望ましい結果の達成を支援する戦略と計画を策定することが重要です。

関連セミナーも開催しておりますので、移行準備にお役立ていただければ幸いです。詳細は弊社ホームページをご参照ください。

IAFとILACの統合について

国際的な認定制度の枠組み再編により、IAF(国際認定フォーラム)およびILAC(国際試験所認定協力機構)は、認定の一元化と国際的な信頼性向上を目的に統合され、新組織「Global Accreditation Cooperation Incorporated: GAC(グローバル認定協力機構)」が2026年1月1日より正式に運営を開始しました。

この統合に伴い、ISO認証の国際的な信頼性を支える相互承認の仕組み(IAF MLA)は、新組織のGACへ引き継がれ、今後は同機構が一元的に管理を行います。また、統合に際しては、IAF・ILACが保持してきた国際相互承認の地位が継続されることが公式に示されており、UKASを含む既存認定の有効性に変更はありません。これにより、ISO認証の

国際的な信頼性および受容性は従来どおり維持され、国際的な枠組みのもとで安定的に運用が継続される体制が確保されています。詳細はGACサイトをご参照ください。(参照: <https://globalaccreditationcooperationincorporated.org/>)

JRCA講演会開催



弊社審査員も審査員資格を登録している、一般財団法人日本要員認証協会マネジメントシステム審査員評価登録センター(JRCA)主催の講演会が、本年も2月にオンラインで開催されました。今年度の講演テーマは、「PDCA/SDCAの両輪で進める組織づくりの実践ポイント」、「AIマネジメントシステムの要点(ISMSとの比較)」、「根本原因分析(RCA)の要点」、「カーボンフットプリントを企業成長につなげる」の4つでした。

同様の講演会はIRCAなど他の審査員資格登録機関でも毎年実施されています。審査員資格の維持・更新には、所属審査機関やJRCA、各研修機関が行う教育への参加と、その実績報告・評価が必要になります。審査員は、これらの講演会を通じ、最新情報の習得や力量・審査技術の向上に努めています。

INFORMATION

～新検証サービス紹介～

経済産業省主催「GXリーグ」の登録検証機関への登録のお知らせ

～カーボンニュートラル実現へ、企業の脱炭素経営を支える信頼のパートナーとして～

インターテック・サーティフィケーションは、経済産業省が主導する脱炭素社会の実現に向けた枠組み「GXリーグ」において、この度「GXリーグ登録検証機関」として正式に登録されましたことをお知らせいたします。

◆背景:2026年度、排出量取引の本格化に向けて

日本政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル」の達成に向け、企業には、GHG(温室効果ガス)排出削減の具体的なアクションと透明性の高い情報開示が求められています。特に2026年度からの排出量取引制度(GX-ETS)の本格運用を控え、報告データの信頼性を担保する「第三者検証」の重要性が高まっています。

◆GXリーグにおける登録検証機関の役割

GXリーグの登録検証機関は、参画企業が提出するGHG排出量データや削減計画の適合性・妥当性を、GXリーグの基準に基づき検証します。インターテックは第三者の立場からデータの信頼性を担保し、企業の脱炭素経営に対する市場・投資家の信頼を強固にする役割を担います。

◆インターテックが提供する「付加価値検証」の強み

インターテック・サーティフィケーションは、長年にわたり広範な産業分野で認証・検証サービスを提供してまいりました。

1) 国際規格への知見: ISO 14064(組織・プロジェクトのGHG排出

量)やISO 14067(製品カーボンフットプリント:CFP)に準拠の検証実績を有し、グローバルサプライチェーンを見据えた検証が可能です。

2) 国内制度の実績: 東京都・埼玉県登録検証機関としての長年の実績・知見をGXリーグにも活かします。

3) 現場主義の「付加価値審査」: 適合性確認にとどまらず、マネジメントシステムの改善や企業価値向上につながる気づきを提供する「付加価値審査」を基本方針としています。

◆今後の展望:GX推進の確かなパートナーとして

国際規格やGXリーグの要求事項に準拠した、信頼性の高い検証サービスを通じ、品質・コスト・納期のすべてにおいてお客様の事業環境に合わせた最適な検証サービスを提案し、企業のGX(グリーン・トランスフォーメーション)推進をバックアップいたします。

◆お問い合わせ

第三者検証のご相談、お見積依頼、技術的なお問い合わせ等は、担当:西菌(atsunori.nishizono@intertek.com)まで、お気軽にお問い合わせください。